

FAXの誤送信による個人情報の漏えいについて

(要旨)

菊川市立総合病院が、新型コロナ療養者支援センター宛てにFAX送信すべき新型コロナウイルス感染症の発生届を、誤って第三者である県外企業に送信した。

現在、誤送信された個人情報は削除されており、現時点で本件に関わる個人情報の流出は確認されていない。

(概要)

1 経緯等

(1) 誤送信日 9月11日(日)、9月19日(月)、11月1日(火)、11月5日(土)
11月7日(月)

(2) 誤送信先 県外企業(1社)

(3) 判明日 11月10日(木) 静岡県西部保健所からの連絡により判明

(4) 漏えいした個人情報

新型コロナウイルス感染症発生届6名分

※含まれていた個人情報

氏名、性別、生年月日、年齢、住所、電話番号、保護者氏名、保護者電話番号、診断年月日、検体採取年月日、発病年月日、ワクチン接種歴、重症化リスク、重症度、入院(必要性)有無

(5) 誤りが起きた状況・原因

- ・発生届の送信先FAX番号の確認を電話のみで済ませたことにより、誤った番号をFAX機器に登録してしまい、第三者である県外企業1社に送信してしまった

2 相手方への対応

- ・11月11日(金) 情報が漏えいした患者5名に報告・謝罪
- ・11月15日(火) 誤送信先企業へ連絡・謝罪のうえ、個人情報の削除を依頼
- ・11月16日(水) 情報が漏えいした患者1名に報告・謝罪

3 再発防止策

(1) FAX機器の操作手順の周知徹底

- ・FAX機器に短縮番号を登録した際は、事前のテスト送信による確認を徹底

(2) 送信時の確認の強化

- ・送信後は送信記録により、送信先の確認を徹底
- ・個人情報をFAX送信する際は、職員2名によるダブルチェックを実施

(3) 全職員への注意喚起の実施